

## 研究対象者等に通知し、又は公開すべき事項（情報公開用）

申請番号： 20-144

試料・情報の利用目的及び利用方法

- ・ 研究課題名：当院での遺伝性腫瘍に対する取り組み
- ・ 目的：本研究の目的は、当院の遺伝性腫瘍に関する治療成績や予後与える影響を明らかにし、今後の治療選択の一助になることを目的とします。
- ・ 研究期間：本研究の承認日～2025年9月30日
- ・ 研究対象：2015年12月1日～2024年12月31日

利用し、又は提供する試料・情報の項目

：この研究では、患者背景（年齢、本人のがん罹患歴、がん家族歴）、遺伝カウンセリング実施状況（来談経緯、主訴）、遺伝学的検査結果、HBOC診断後のフォロー状況（定期的なサーベイランス状況）、予防的切除の有無、新規乳癌・卵巣癌発症状況、PARP阻害剤の治療効果、生存期間を、匿名化した状態で調査を行い解析します。

利用する者の範囲

：当院で研究責任者は、乳腺腫瘍科の松浦一生です。

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

：当院で研究責任者は、乳腺腫瘍科の大崎昭彦です。